

平成28年度第1回甲賀市観光振興計画審議会 会議録

1 開催日時

平成28年(2016年)7月26日(火) 午前10時から午後0時まで

2 開催場所

甲賀市役所水口庁舎 3階 第一委員会室

3 出席委員

木川委員(委員長)、横川委員(副委員長)、平岡委員(副委員長)、
大河原委員、清水委員、村山委員、藤田委員、和田委員、住田委員、友田委員、
川島委員、寺内委員

計12名出席

欠席者

なし

甲賀市

中嶋市長

事務局

産業経済部 森本部長、伴次長

観光企画推進室 藤村室長、神山室長補佐

支援事業者

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 中部、大藤

4 会議次第

1. 開会

○市民憲章唱和

2. 委員委嘱

3. 市長あいさつ

4. 委員自己紹介

5. 委員長、副委員長の選任

6. 諮問

7. 協議及び報告事項

(1) 甲賀市観光振興計画審議会の情報公開(案)について

(2) 第2次甲賀市観光振興計画の策定にあたって

(3) 甲賀市観光振興計画策定スケジュールについて

8. その他

(1) 次回審議会の開催時期について

9. 閉会

5 会議資料

甲賀市観光振興計画審議会 委員名簿

- 資料1 甲賀市観光振興計画審議会の概要
- 資料2 甲賀市附属機関設置条例 ※関係部分抜粋
- 資料3 甲賀市観光振興計画審議会規則
- 資料4 甲賀市観光振興計画審議会の情報公開（案）について
- 資料5 第2次 甲賀市観光振興計画の策定にあたって
- 資料6 甲賀市観光振興計画策定スケジュール

- 別冊
 - ・甲賀の國づくりプロジェクト
 - － 甲賀流まち・ひと・しごと創生総合戦略 － 【総合戦略編】
 - ・甲賀市観光振興指針（平成21年3月）
 - ・甲賀市観光振興計画（平成22年3月）
 - ・甲賀市忍者検定・特別記念講演アンケート調査報告書

6 会議内容

1. 開会

○市民憲章唱和

2. 委員委嘱

3. 市長あいさつ

中嶋市長

4. 委員自己紹介

- ・委員自己紹介
- ・事務局自己紹介
- ・支援事業者紹介

5. 委員長、副委員長の選任

- 【事務局】 委員長についてどのような方法で決めさせていただければよいか。
- 【委員】 委員長は学識経験を有する木川先生にお願いしたいと思うがどうか。
- 【事務局】 他のご意見はございませんか。木川委員、お引き受けいただけますか。
- 【木川委員】 引き受けます。
- 【委員】 全会一致で賛成
- 【事務局】 続いて副委員長の選任について、ご審議をお願いします。

- 【委員】 観光施策に深く関わっておられる両観光協会事務局長である横川委員、平岡委員を推薦する。
- 【事務局】 他のご意見はございませんか。横川委員、平岡委員、お引き受けいただけますか。
- 【横川委員】 引き受けます。
- 【平岡委員】 引き受けます。
- 【委員】 全会一致で賛成

6. 諮問

「第2次甲賀市観光振興計画」の策定について（諮問）

—市長退席—

7. 協議及び報告事項

- 【委員長】 会議の成立について事務局より報告をお願いします。
- 【事務局】 甲賀市観光振興計画審議会規則第3条第2項の規定に定める委員の過半数の出席があるため会議が成立していることを報告します。

(1) 甲賀市観光振興計画審議会の情報公開（案）について

- 【委員長】 事務局より説明願います。
- 【事務局】 資料4（甲賀市観光振興計画審議会の情報公開（案）について）により、当審議会の会議内容を公開、ならびに傍聴者の入場について制限しないことを説明する。
- 【委員長】 ご意見はございませんか。特にないようですので事務局案について了承いただけますか。
- 【委員】 一同意見なし
- 【委員】 全会一致で賛成

(2) 第2次甲賀市観光振興計画の策定にあたって

- 【委員長】 事務局より説明願います。
- 【事務局】 資料5（第2次甲賀市観光振興計画の策定にあたって）の説明の前に、なぜ甲賀市で今「忍者」を活用した観光PRを行っているかについて、別冊「甲賀の國づくりプロジェクトー甲賀流まち・ひと・しごと創生総合戦略ー【総合戦略編】」により「忍者」を活用した観光戦略が甲賀市のリーディングプロジェクトに位置づけられていることを説明する。資料5の内容については支援事業者により説明します。
- 【支援事業者】 資料5（第2次甲賀市観光振興計画の策定にあたって）により甲賀市の観

光入込客数の現状等について説明する。

- 【委員長】 ご意見はございませんか。
- 【委員】 資料14ページ、「滋賀県で知名度が高い観光スポット・名物」について、回答数が少ないものが上位になっているのはなぜか。
- 【支援事業者】 「名前を聞いたこともない」と回答した方が少ない観光スポットが上位となるのは、逆説的に認知度が高いという意図から上位としています。
- 【委員】 資料17ページ、伊賀市の観光客数にはゴルフ場が含まれていないのか。
- 【事務局】 伊賀市の参考資料にはゴルフ場利用者は含まれていない数字を示しています。甲賀市の目的別観光を見ていただくと、ゴルフ場だけで100万人となっていることがわかります。資料については比較しやすいよう次回審議会までに修正いたします。
- また、同日に複数訪問している場合は、重複して計上されている場合もあります。
- 【委員】 甲賀市の場合、観光客数はどのように把握しているのか。
- 【事務局】 年間2回（上期、下期）で観光入込客数を県調査に併せて市内観光関連施設への調査を実施し、統計として把握しています。
- 【委員長】 重複して計上されている場合があるとは調査対象施設ごとに回答を得ているためか。
- 【事務局】 そのとおりです。この調査方法は、全国的に同様の方法で調査を実施しています。
- 【委員】 観光入込客数について、2014年までの数値となっているのはなぜか。
- 【事務局】 資料作成時に集計できていた統計結果を反映したものです。次回審議会までに、最新の集計結果を反映し資料を修正いたします。
- 【委員】 第1次計画策定の際でも感じたが、甲賀市が定義としている「観光」とは、経済的な発展を目指すものか、観光入込客数の増加だけを狙っているものかどちらか。
- 【事務局】 別添 甲賀市観光振興計画（平成22年3月）の7ページをご覧くださいと、経済的・地域的な振興を図るものとしています。併せて、観光振興は、教育面やまちづくりの発展に寄与する側面を有しており、非常に大きな効果を期待するものです。
- 【委員】 観光振興計画の策定とは、一般的にはどのようなものと理解すべきか。何を目的、中心として観光振興を行っていくと考えるか。
- 【事務局】 最終的な目的は、地域の活性化をめざしています。甲賀市観光振興計画（平成22年3月）では、3つの資源を相乗的に発展させていくという考えでした。今回、第2次計画をどのように変えていくかについては、「甲賀の國づくりプロジェクトー甲賀流まち・ひと・しごと創生総合戦略ー【総合戦略編】」の9ページにもあるように「忍者」をキーワードとした、先導的な

プロジェクトを切り口に、様々な資源と結びつけていくべきかと考えています。

【委員】 第1次計画策定と第2次計画の違いはどのようなものがあると考えられるか。

【事務局】 先の諮問でもありましたが実施主体としての日本版DMOといった考え方は無視して進めることはできないと考えています。そのため、第2回審議会については日本版DMOに精通されている講師を招いての勉強会を考えています。

【委員長】 補足させていただくと、「DMO (Destination Management/Marketing Organization)」とは、民間の考え方において地域にあるさまざまな資源を、横のつながりをもって有機的な魅力の向上につなげることである。甲賀市では今から検討されるとのことであるがDMOを今からスタートさせるのは、少し遅いくらいである。この他にも従前の自治体の枠を越えて広域的な連携により活動されているモデルケースもある。

【委員】 先進地視察として下呂に研修へ行ったことがある。そこでは、入湯税の税收を市から補助として受け、自分たちで観光施策に活用しているというものであった。全国的にはこのような取組みを行なっているDMO組織は存在している。

【委員】 滋賀県では公益社団法人びわこビジターズビューローがDMOの組織化されている。

【委員】 日本版DMOについては必要な検討課題かと考えるが、まずもって、観光施策の実績を掘り下げて、課題の洗い出しが必要ではないか。その上で「忍者」による観光戦略を実施しないと観光入込客数の増加につながらないと考える。

【事務局】 事務局としましては、先に説明いたしましたが「甲賀の國づくりプロジェクトー甲賀流まち・ひと・しごと創生総合戦略ー【総合戦略編】」に従い、忍者を骨格に据え計画の策定に務めたいと考えています。また、課題の洗い出しについては第3回審議会にお諮りする予定であります。

【委員長】 他にご意見はございませんか。今、頂戴したご意見は今後の計画策定に活かすよう事務局で議案の作成に務めていただくよう願います。それでは、事務局案について了承いただけますか。

【委員】 一同意見なし

【委員】 全会一致で賛成

(3) 甲賀市観光振興計画策定スケジュールについて

【委員長】 計画策定にかかるスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

【事務局】 資料6（甲賀市観光振興計画策定スケジュール）により第2回審議会では日本版DMOについて委員の共通理解を図るため勉強会を実施します。また、現計画の実績ならびに評価については第3回審議会で協議、検討をお願いしたいと考えています。この他、来年1月には広く市民の意見を頂戴したくパブリックコメントを予定しており、計7回の審議会の開催を予定しています。なお、今後の社会情勢の変化や制度の改正等によりスケジュールが変更される場合もあります。

【委員長】 ご意見はございませんか。特にないようですので事務局案について了承いただけますか。

【委員】 一同意見なし

【委員】 全会一致で賛成

8. その他

(1) 次回審議会の開催時期について

開催日時

平成28年（2016年）8月31日（水）午後2時から午後4時まで（予定）

開催場所

あいこうか市民ホール 1階 展示室

9. 閉会